JR九州労組ニュース

No.54
2022年
4月28日

九州旅客鉄道労働組合
発行責任者 芦原 秀己

身近な病である乳がんについて知ろう

乳がんセミナーと意見交換会

４月 24 日、中央本部は福岡市内において女性組合員意見交換会を開催し、各地本・支部の女性組合員 27 名が参加しました。意見交換会の第１部ではＪＲ九州労組と提携しているアフラック生命保険株式会社の小河原奈緒子氏を講師に迎え、乳がんセミナーを行いました。

セミナーでは乳がんの基礎知識、症状や治療法、治療費用などにも触れて話をしていただきました。また、乳房の模型を触って、実際にしこりを確認する体験も行い、参加者からは「大変貴重な体験ができた」と好評な感想が多数寄せられました。

【セミナーの様子】乳がんは女性が最もかかりやすいがんということで、皆真剣に聞き入っていました。

【模型を触診】触診モデルの中には乳がんのしこりが入っています。大きさや硬さを触って確認しました。

【セルフチェックの方法】いつもと違う状態を知るためには、普段からも見ておくことが大切です。

乳がんの自覚症状 CHECK

- ☐ 乳房にしこりがないか
- ☐ 乳房の皮膚にくぼみやひきつれがないか
- ☐ 痛みや張る感覚がないか
- ☐ 乳頭から血液の混ざった分泌物が出ていないか
- ☐ わきにしこりがないか

乳がんは
30 歳代から増加し
50 歳前後で最も多くなります。
他人事と思わないで、
チェックしてみよう！

大切なのは早期発見

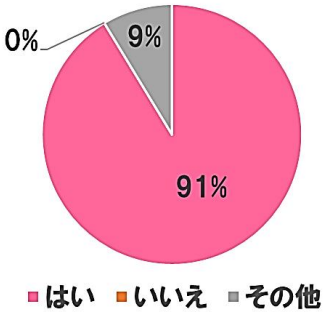
セルフチェックとがん検診！

ＪＲ九州労組団体がん保険の案内はホームページへ（ここをクリック）

受講者の感想

- ◆実際に模型を触って、乳がんがどのあたりに出来るのか、しこりの硬さなども確かめる体験ができて良かった。
- ◆今の自分の保険で費用を賄えるのか心配になったので保険を見直してみようと思う。
- ◆機会がなければ自分から話を聞くことがないため参加して良かった。

セミナーが乳がん検診を受けるきっかけになりましたか？



意見交換会の第２部では「女性組合員アンケートについて～振り返りと2022年度実施に向けての意見集約～」、「組合員の雇用維持・確保ってどういうこと？」という２つのテーマで中央本部から提起を行いました。

ＪＲ九州労組では毎年女性組合員アンケートを実施していますが、集約数を増やさなければ女性組合員全体の声を反映したものとは言えません。今回、集約数を増やすためのアイデアとして①回答特典をつける、②適度な声掛け、③回答者の点検・報告をする、④アンケートの活用結果（改善事例）を示すなどが挙がりました。

女性組合員アンケートについて

女性組合員アンケートは、会社の制度や就業環境等の満足度を調査するため、また、より良い組合活動を行う参考にするため実施しています。

また、ＪＲ九州労組では、女性組合員の声も多く活動に反映させるために女性役員の仲間を増やしたいと思っています。私たち役員も「組合役員の仕事・活動を広く知ってもらう」「興味を持ってもらう」「役員を引き受けてもよいと考えている組合員の声を聞き漏らさない」よう取り組みを行っていきます。

中央本部 組織担当部長
阿多ななみ

組合員の雇用維持・確保って？

ＪＲ九州労組の方針を決定する定期大会や中央委員会で提起されるサブスローガンには必ず「組合員の雇用の維持・確保」と書いてあります。

中央本部 教育・広報部長
吉田春菜

一般的に労働組合は組合員の雇用維持・確保を使命としていますが、ＪＲ九州労組は過去の会社の歴史の経緯から、特にこの部分にこだわっています。

そして現在コロナ禍においても、組合員の雇用を守るために、ＪＲ九州労組（ＪＲ連合）が取り組んでいることを説明しました。

第３部では「どんな組合活動が理想的？」というテーマでグループディスカッションを行い、参加者から非常に多くの意見が出されました。今回出された意見をもとに次年度以降の活動を検討し、皆が楽しんで参加できる労働組合を目指します。

どんな組合活動が理想的？

・**WEB**開催　・旅行に近い**イベント性**のあるもの　・ためになる**セミナー**
・**短時間**で気軽に参加できるもの　・**他社、他労組**の視察、見学、交流
・懇親会　・アフタヌーンティなど**非日常感**のあるもの　・**家族**同士の交流
・**子ども連れ**で参加　・料理教室などの**体験型**

「労働組合や役員が何をしているのかが分かりにくい」という声もいただきました。
活動内容は随時ホームページで発信していますので、ぜひご覧下さい。

意見交換会のご参加
＋
たくさんのアイデア
ありがとうございました！